

1113 學年度第一學期 Eurasia 基金會 (from Asia) 國際講座
第七期「亞洲共同體：東亞學的構築與變容」系列講次(3)

講題：台湾における日系外来語

鍾季儒

(2024. 09. 26)

要旨

中国文化大学 113 学年度の Eurasia 基金会国際講座第 3 回では、本学の日本語学科鍾季儒助理教授が「台湾における日系外来語」をテーマに講演を行った。鍾先生は 1997 年から中国語における日系外来語の研究をスタートし、今回の講演では 27 年間の研究を基に、外来語の基本的な理解から説明をし、中国語における外来語の特徴を紹介した。そして、日系外来語の種類、歴史的背景、使用状況について詳述し、それが台湾の言語社会に与えた影響を分析した。

一、外来語の基本的な理解

世界中の言語は少なからず外来語を含んでおり、外来語は文化交流が生まれる際に必然的に発生する現象である。外来語を使用する理由は、もともと存在しなかった新しい事物や概念、思想を紹介するため、または既存の物品に新しい感覚を持たせるためである。外来語は言語に入った後、その中に溶け込んで定着することもあるが、一時的な言語現象として消えてしまうこともある。日本語の外来語は片仮名で表記されるため判別しやすいであるが、中国語はすべて漢字が使われるので、文全体を読み通し、文脈から外来語を判断する必要がある。

二、中国語における外来語

中国人は保守的で新しいものや外来のものを好まないため、世界の他の言語と比べて中国語における外来語の数は比較的少ないようである。漢字は表意文字であり、音訳に向いていない一方、意味を訳す意識は時間がかかるため、大量の外来語を生成できないからである。日系の外来語が台湾に大量に入ってきたのは清末民初の近代と 1980 年代以降の現代の二つの時期であり、これらの時期に現れた日系外来語の多くは日常語として定着し、頻繁に使用されている。

三、外来語の翻訳方法

1. 外国語の発音を借りて最も近い漢字で表す「音訳」。

2. 外国語の意味を汲み取り、中国語で新しい単語を作る「意識」。
3. 外国語の文字形態を借りる「借形」。

中日両国とも漢字を使用しているため、借形が日系外来語の中で最も多く、文字形態は中国語の漢字を使っているにもかかわらず、意味や文化は日本化されている。借形語は日系外来語研究の中心となっている。

四、中国語における日系外来語の種類

台湾の日系外来語は、主に時代に応じて三種類に分けられる。

1. 近代外来語：

中国の清朝末期には西洋の文明が大量に中国に伝わり、同時期の日本も明治維新を経て西洋文化を吸収していた。中日両国はこの時期に大量の翻訳を行い、多くの外来語が生まれた。日本の訳語は簡潔でわかりやすいため、次第に中国の難解な訳語が置き換えられた（例：democracy（德謨克拉西）→民主）。この時期の日本の訳語の一部には、元々中国の古典に由来し、日本で新たな意味を与えられてから中国語に再び取り入れられた「回帰語」（例：経済、社会など）も含まれる。

2. 残存外来語：

台湾は1895年から1945年までの間、日本の植民地であり、長年にわたる日本語教育によって日本語が広く普及した。当時、台湾人は公の場で日本語を使用し、家庭では母語（台湾語、客家語など）を話していた。その結果、自然に二つの言語が混ざり合っ、一つに融合していった。これらが台湾独自の日系外来語として残っていた。例えば、塌塌米（たたみ）、歐吉桑（おじさん）、甜不辣（てんぷら）等である。

五、「新外来語」の研究：

第二次世界大戦が終わり、日本が敗戦した後、台湾は国民党政府の統治下に入った。政府は日本統治の影響を一掃し、言語政策において日本語を廃止し、公の場での日本語使用を禁止した。その結果、日本との交流は極端に減少した。しかし、時代が進むにつれて、商業における日本との交流が徐々に復活し、1987年には戒嚴令が解除され、日本の大衆文化の輸入規制も次第に緩和された。1993年にはケーブルテレビが解禁され、テレビ局が日本語番組を放送できるようになり、「哈日族（日本好き）」という社会現象が生まれた。日本の流行商品がますます増え、新しい外来語が大量に借用され、台湾に大きな影響を与えた。

鍾先生は、この時期に台湾に伝わった日系外来語を「新外来語」と呼び、まず全体的な情報を把握するために、台湾で発行されている日本情報誌『日本文摘』と『Taipei Walker』を用いて、1,721語の日系外来語を収集した。その中で、形を借用した語（借形語）が全体の70%を占め、流行、生活、経済

に関連する語彙が最も多かったと指摘している。そして、鍾先生は「自由時報」を利用して、「達人」と「ポケモン（精霊寶可夢）」という 21 世紀初頭に非常に活発に使用されていた新外来語を調査し、さまざまな新外来語の変遷状況を継続的に観察・分析している。

鍾先生の最終的な目標は、新外来語の使用状況を確立し、より多くの人々に外来語の問題に関心を持ってもらうことである。そして、学生たちが言語学習の触手を伸ばし、日常的に使用している中国語や日本語をより敏感に捉えることで、日本語学習の効率を高めることを期待している。

日本語翻訳 葉淑華

2024. 09. 28